

Digital Agency Dashboard Series

デジタル庁ダッシュボードシリーズ

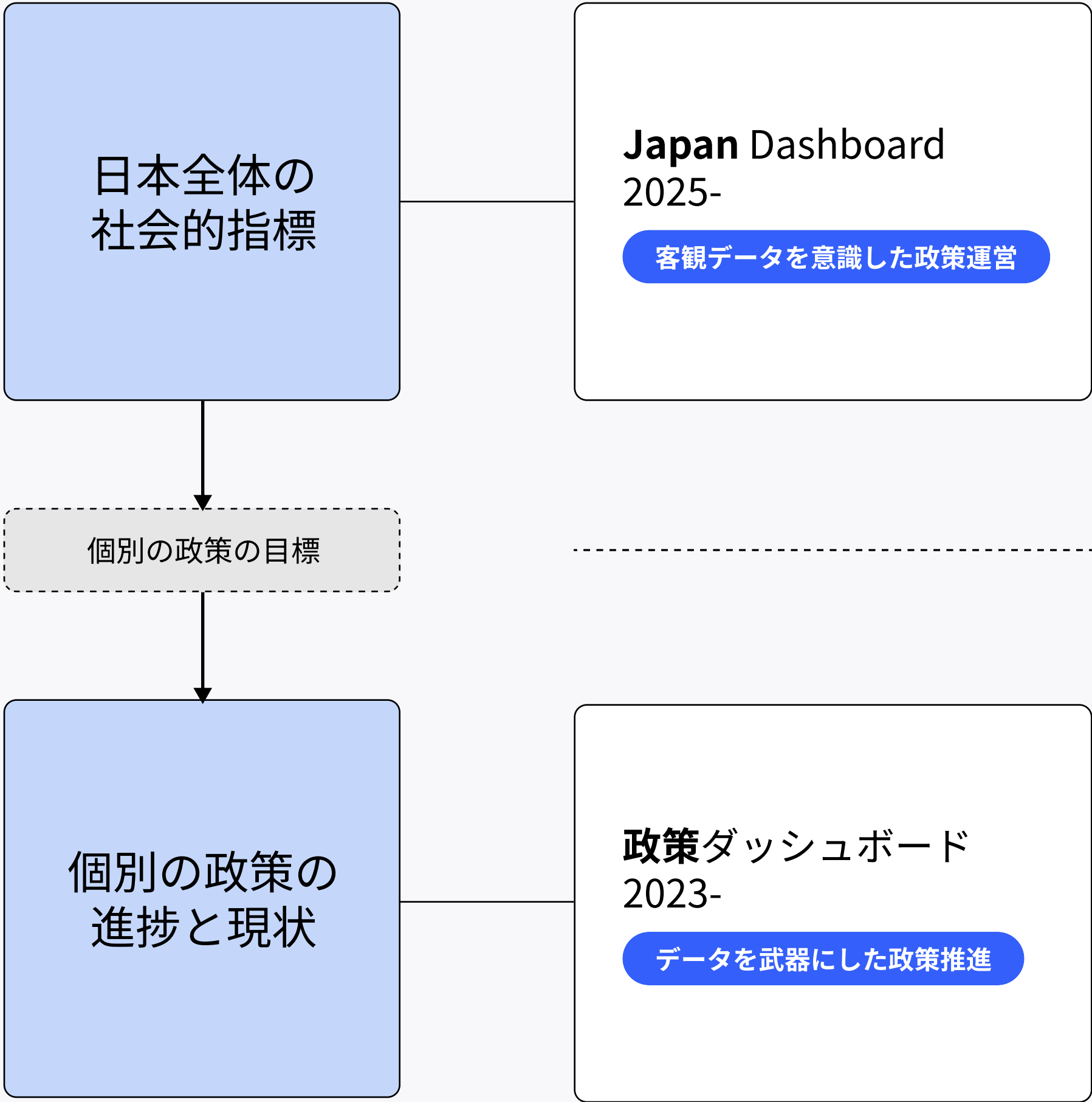
統計データの活用と課題について

何を公開しているのか？

2022年から開始。他省庁と協力し、約40のダッシュボードを公開予定。

	2022	2023	2024	2025	2026（予定）
デジタル庁	マイナンバーカードの普及	- マイナンバーカードの利活用 - アナログ規制見直し 26手続きのオンライン化 - 意識調査	- マイナポータルの利用状況 - GビズIDの利用状況	高等学校入学者選抜事務手続のデジタル化	- マイナンバー普及利活用 - 公金受取口座の登録状況
総務省			- 自治体DXの取組 - 自治体フロントヤード改革	- 地方自治体システムの共同調達 - 地方自治体システム標準化	- 地方財政（市区町村/都道府県） - 共同事務処理
厚生労働省			- 電子処方箋の導入状況 - 介護現場の生産性向上	リフィル処方箋の認知率や利用	- 医療DX - マイナ保険証 - PMH（医療費助成） - 電子カルテ
文部科学省			校務DXの取組	教員の働き方改革	
国土交通省				水道事業等の経営状況	
こども家庭庁				保育提供体制	子ども家庭相談
内閣府				経済・財政・人口と暮らし	- GDP統計・経済循環図 - 国土強靱化

データに基づく政策運営のための「2種類のデータダッシュボード」を推進

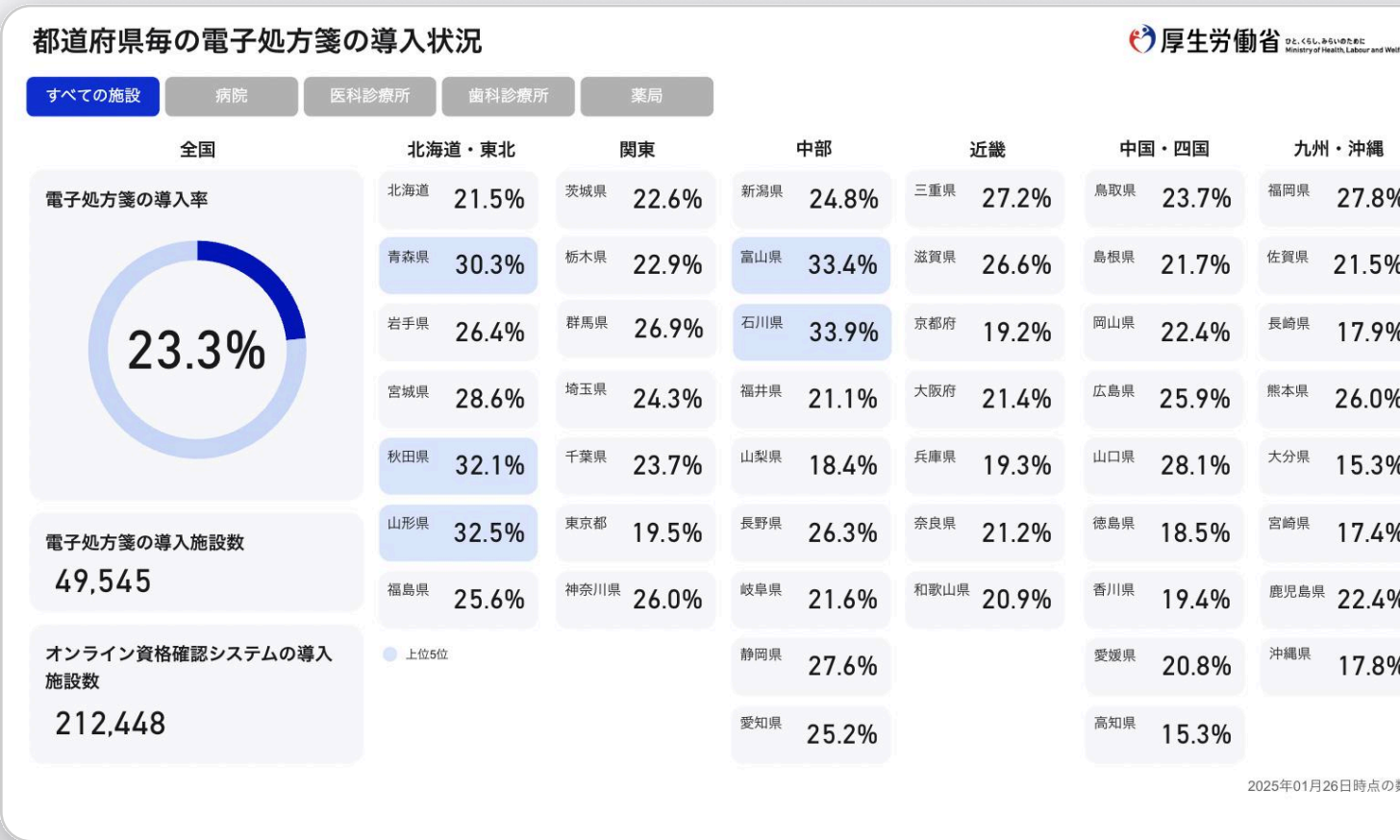


経済・財政・くらし等

- 医療費
- 教育環境、教育費
- 地方財政
- 人口関連
- 等....

デジタル政策等 個別の政策の進捗

- 医療、介護のDX
- 学校（教員の負担軽減）
- インフラ
- 自治体のDX
- など



なぜ取り組んでいるのか？

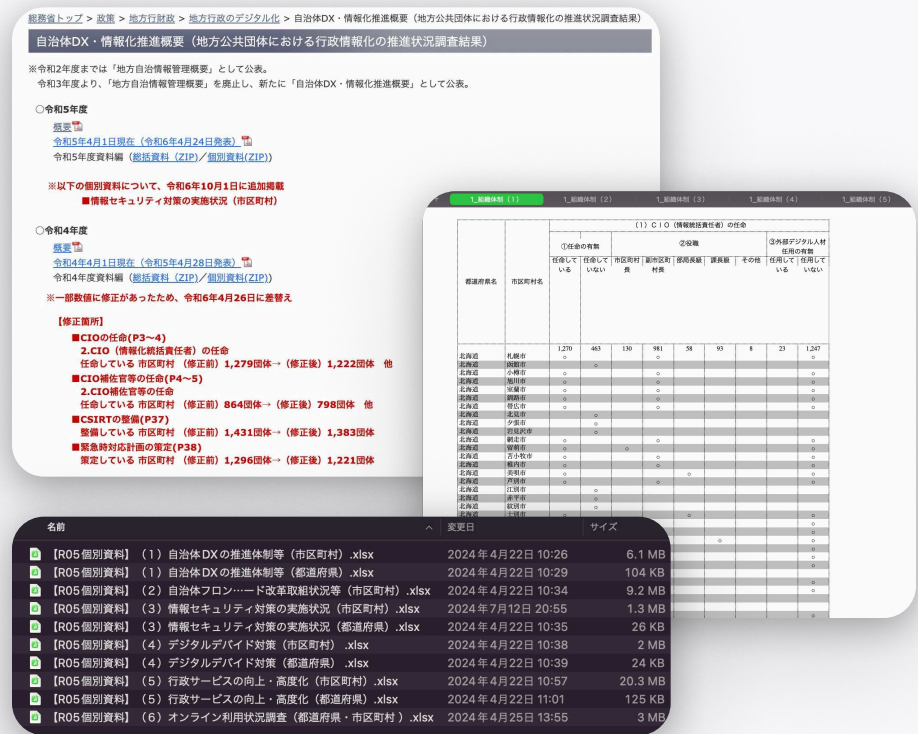
すべての政策関係者が、手間暇かけず、政策の進捗をモニタリング

従来、関係者がそれぞれデータを探し、異なる時点・切り口でデータを確認。自団体の状況を見るだけでもデータ加工に手間暇がかかっていた。

e.g.自治体DXに関するダッシュボード

多様な形式の データソース

(公的統計・業務データ等)



データ加工
→

多様な立場の 政策関係者

利用

中央省庁

地方自治体

47の広域自治体・1742の基礎自治体

サービス提供主体

数十万の医療機関・福祉施設・教育機関

受益者

1. 市区町村毎のDX推進状況

市区町村のDXの取組状況を自治体DXの推進体制等、自治体業務のDX、住民サービスのDXの3つの領域に分けて表示しています。

年度別や市区町村別の各取組の実施状況等を確認することができます。

各項目に関する詳細な説明は[データの定義](#)をご覧ください。



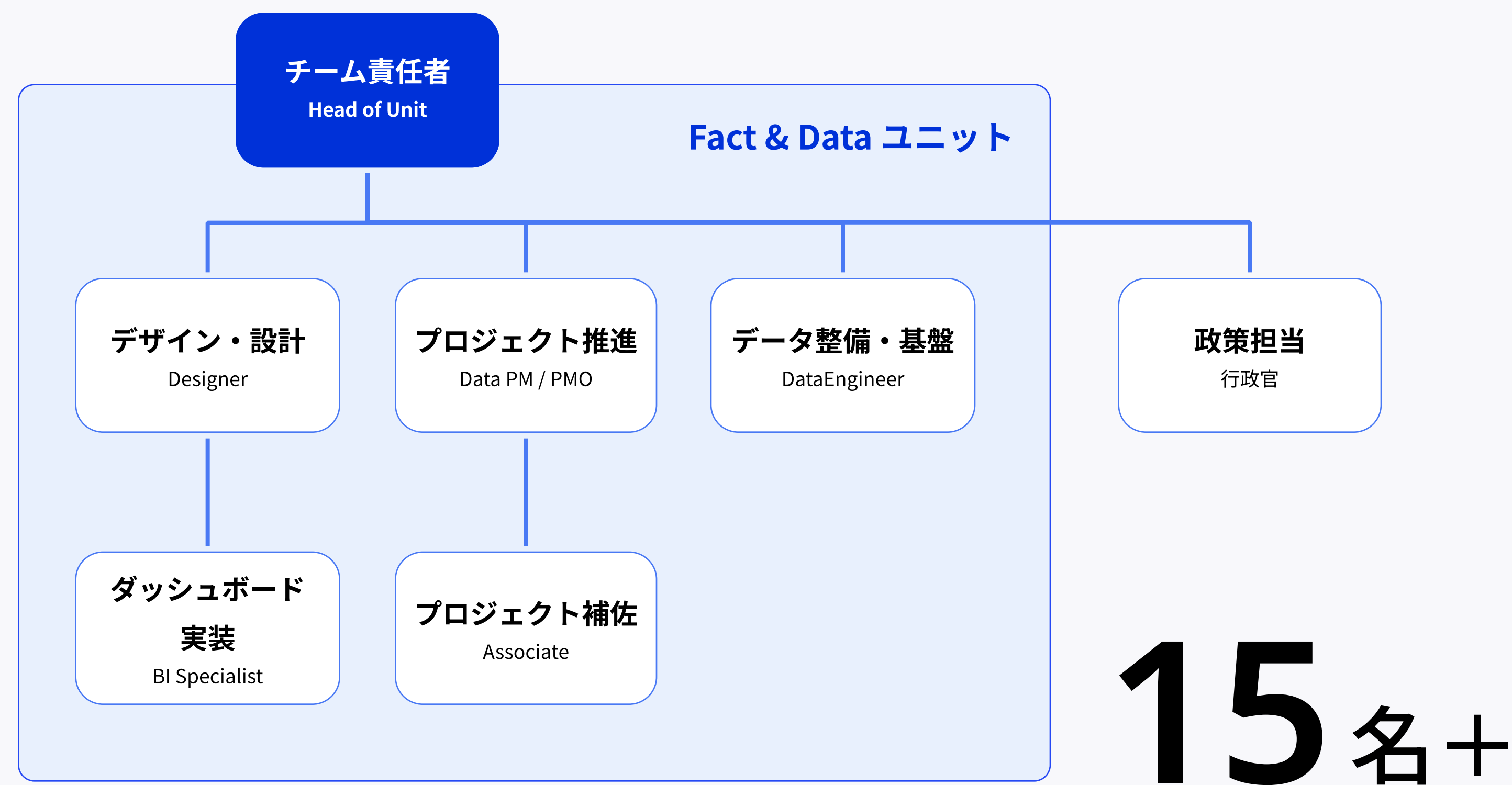
Microsoft Power BI

市区町村毎のDX進捗状況_概要（全画面でみる）



基本的に全てのプロジェクトは内製で完結できる体制

- 他省庁からの相談を元に、要件整理～データ整備～デザイン～ダッシュボード構築といった支援を一元的に提供中。



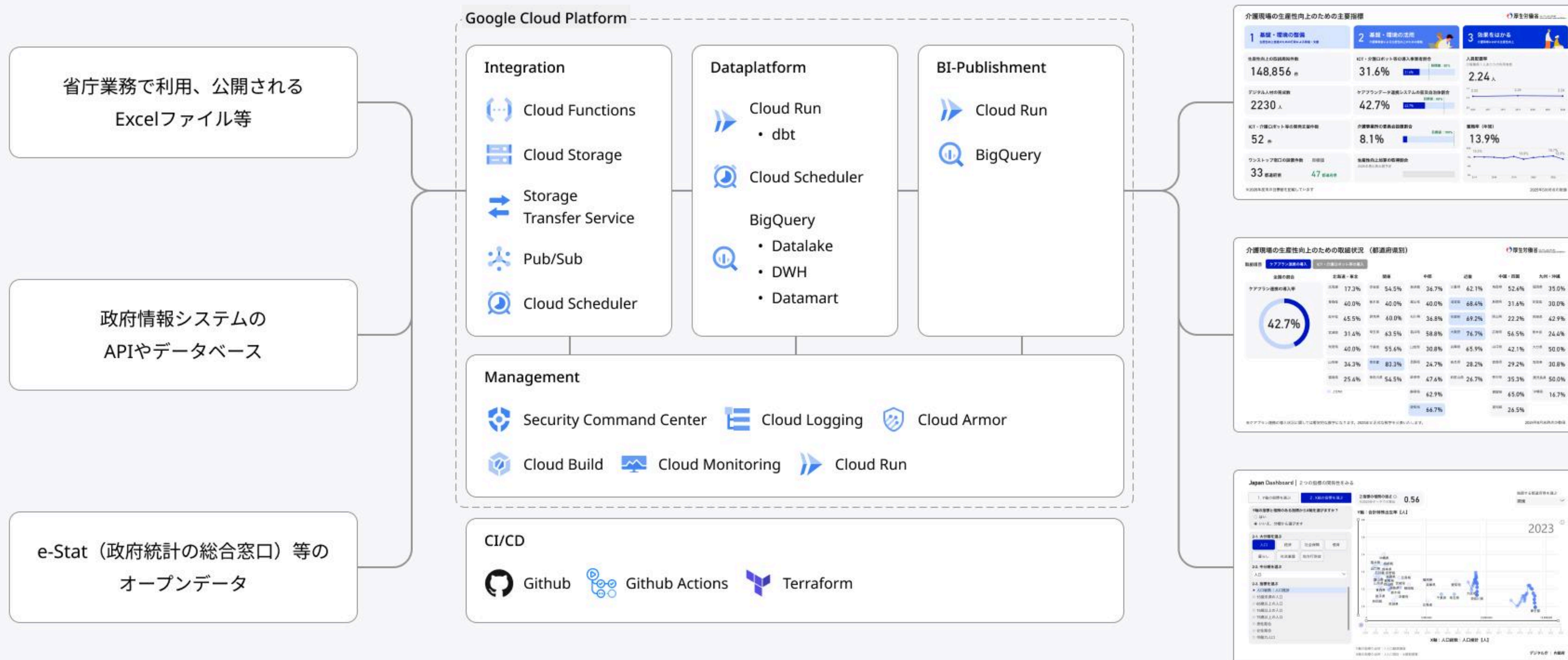
ダッシュボードを支えるデータ分析基盤: sukuna

Google Cloudの各種プロダクト・サービスを活用。フルクラウドのデータ分析基盤で、ガバメントクラウド上に構築

多様なデータソース

データ分析基盤「sukuna」

各種ダッシュボード



ダッシュボード例①：水道事業等の経営状況に関するダッシュボード



作成者

- デジタル庁、総務省、国土交通省

利用データ

- 地方公営企業決算状況調査（総務省・e-Stat）
- 経営比較分析 類似団体一覧（総務省HP）
- 上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果（国土交通省HP）



ユースケース

- 全国の自治体で水道事業を担当している職員向け。
- 近隣の団体や、全国と同規模団体と比較をし、経営改善を検討するための基礎データとして利用する。

ダッシュボード例①：水道事業等の経営状況に関するダッシュボード

画面デモ

ダッシュボード例①：水道事業等の経営状況に関するダッシュボード

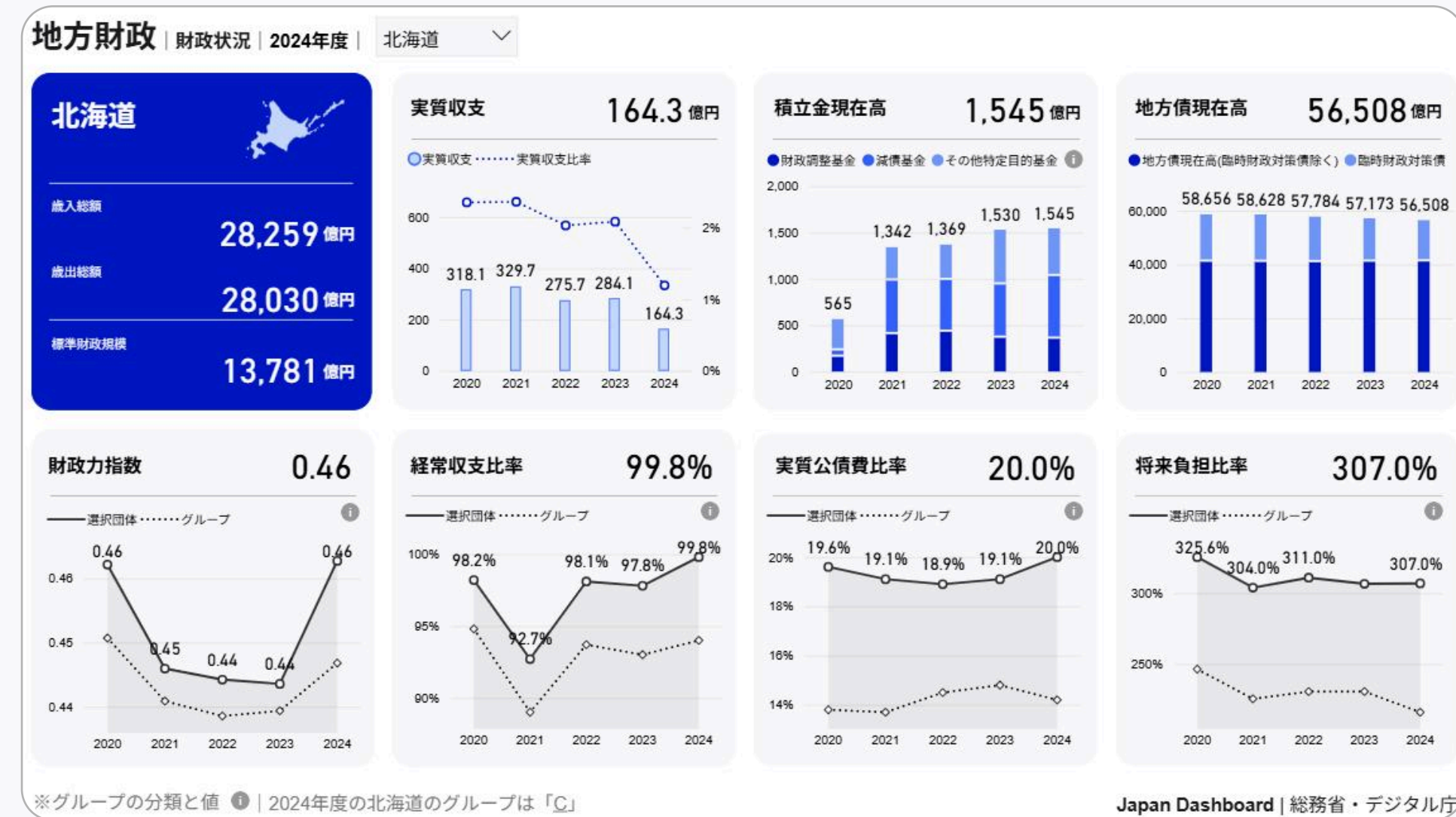
■地方自治体の水道事業の職員の声

高度成長期に整備した水道管路や浄水場の老朽化に伴い、将来に向けた多額の更新投資が必要となる一方で、人口減少や節水機器の普及により料金収入は減少傾向にあります。

事業の安定経営に向けて的確な現状把握が不可欠ですが、従来は予算申請や議会对応のたびにe-Stat等からデータを取得し、手作業で複雑なクレンジングや集計を行っていたため、多大な時間と労力がかかっていました。

このダッシュボードは、画面上のクリック操作だけで他都市との比較や経年変化、施設の老朽化状況が直感的に可視化されます。データ収集・加工にかかる手間が大幅に削減されたことで、そこに時間を割くのではなく、本来注力したかった『分析や施策検討』に専念できるようになり、客観的証拠に基づく議論を役所内ですぐにスタートできています。

ダッシュボード例②：地方財政関するダッシュボード



作成者

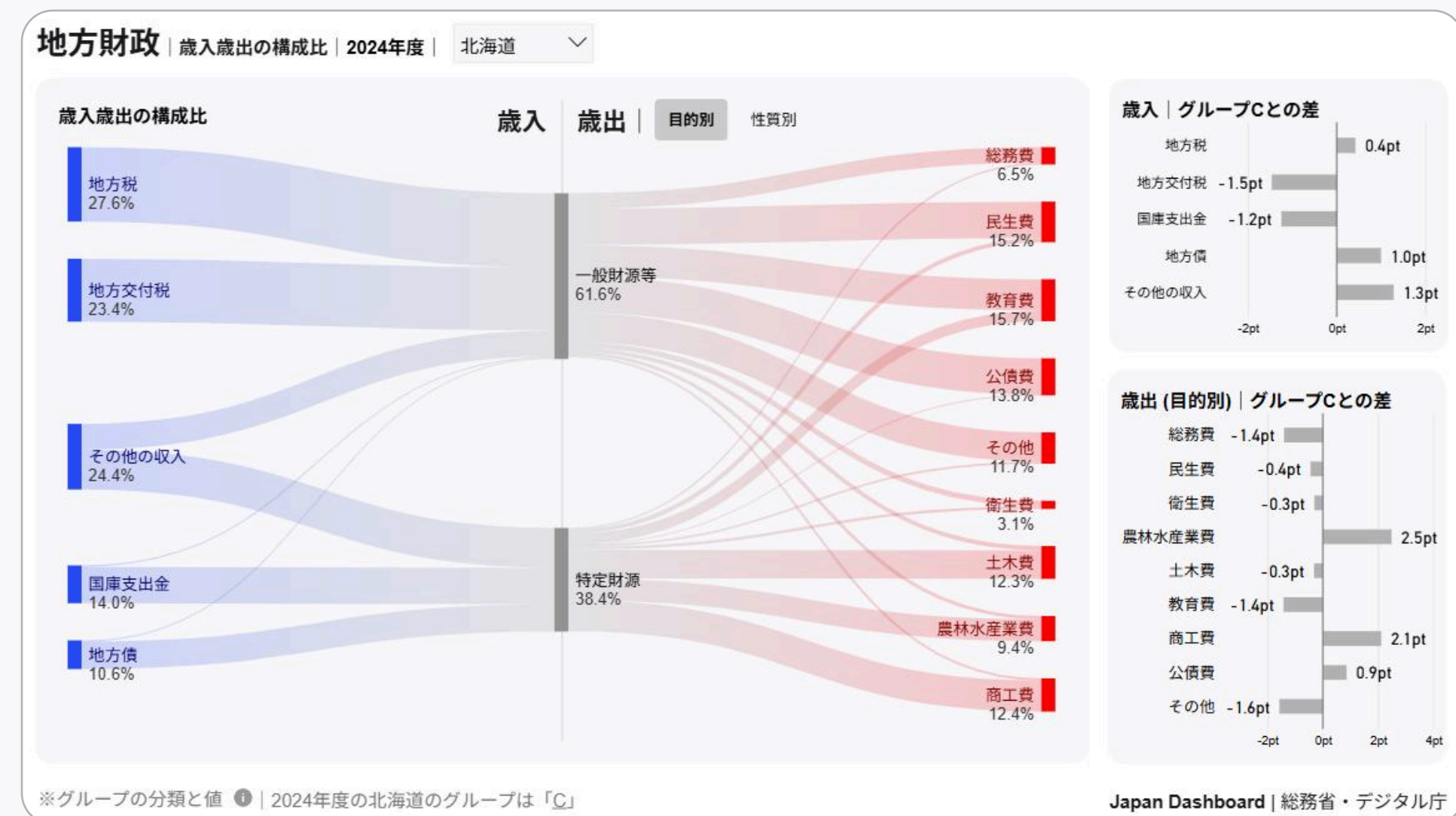
- デジタル庁、総務省

利用データ

- 地方財政状況調査（総務省・e-Stat）
- 財政指標一覧/健全化判断比率/類似団体区分（総務省HP）
- 財政状況資料集（各都道府県HP）
- 住民基本台帳に基づく人口（総務省・e-Stat）

ユースケース

- 都道府県、市区町村で財政部門や企画・政策立案、事業評価を担当している職員向け。
- 財政力指数が近いグループや近隣団体と比較をし、歳入・歳出構造の分析や行財政改革・予算編成を検討するための基礎データとして利用する



ダッシュボード例②：地方財政関するダッシュボード

画面デモ

ダッシュボード例②：地方財政関するダッシュボード

都道府県職員の声

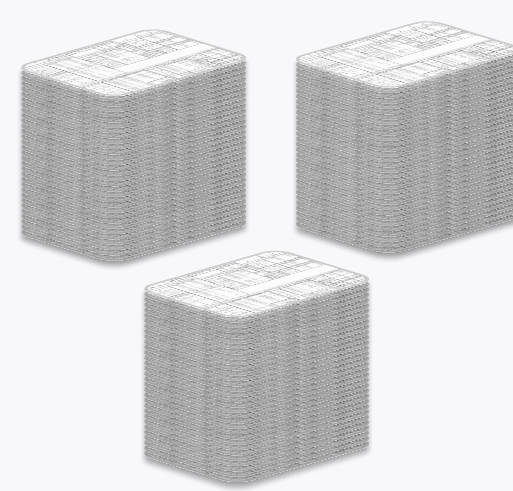
- 類似団体・任意団体の比較機能について、率直な感想を申し上げると「すごい」と感じました。
- 本県でも試行的に予算のダッシュボードを作り始めたところでしたが、情報量が多くなると動作が重くなるという課題がありました。一方、デジタル庁のダッシュボードはデータ量が多いにもかかわらず、簡単に比較ができます。これまでは情報を分析するためにCSVで組み替えるといった操作が必要でしたが、ワンクリックで見比べられる点が非常に優れていると思いました。
- 活用場面としては、決算の説明などが挙げられます。議会では、基金残高や地方債残高がどうなっているか、必要な財源がきちんと確保できているのか、といった点を問われることが多くあります。「他県と比較すると多少減っているものの、本県は微増しており、しっかりと予算を確保している」「他県と比較して水準がこの程度であり、財政の健全性を保っている」といった説明を行う機会が多いのが実情です。こうした説明を視覚的に行えることが、最も助かる点だと感じています。

統計データの活用によりEBPMの推進に繋がるが…

データを活用できる基盤を用意する事で国・自治体の政策立案が効率化し精度向上につながっている。

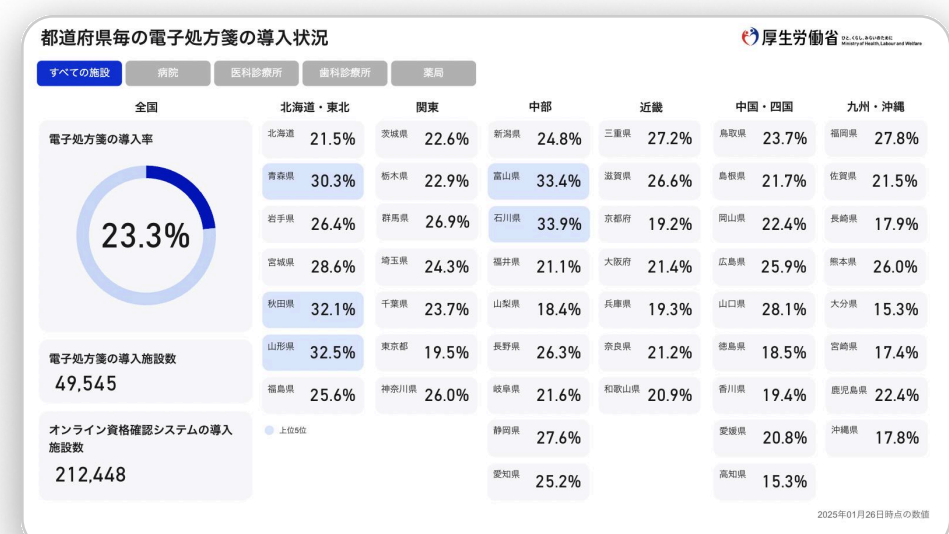
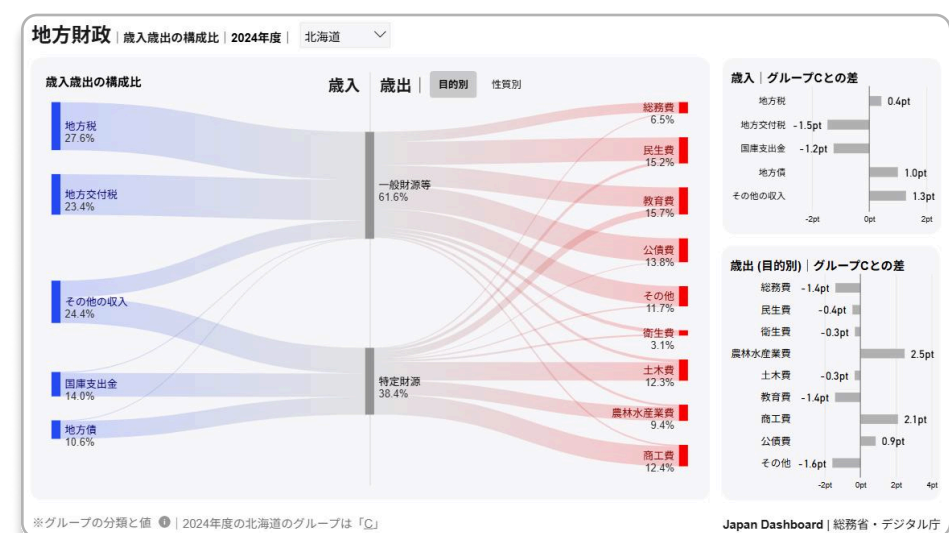
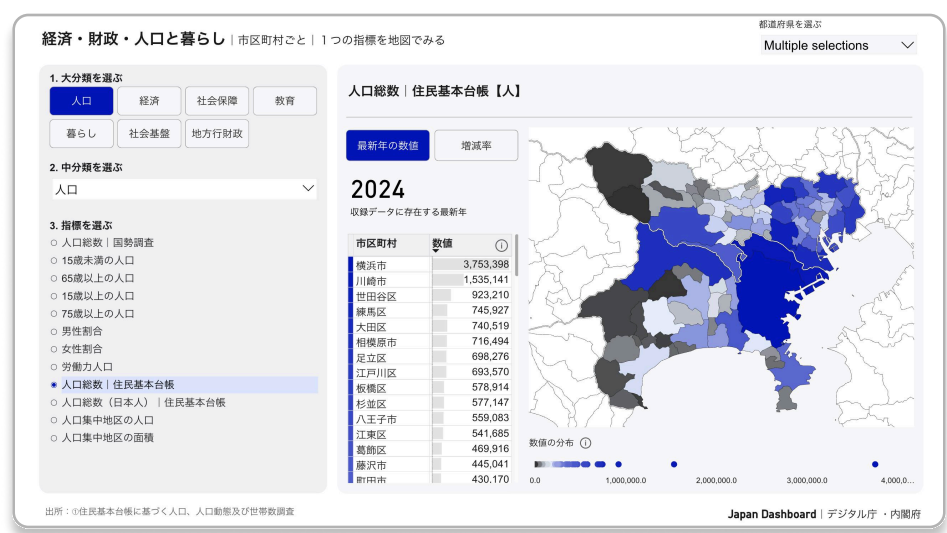
ただ、既存で公開されている統計データの加工には課題が多い状況。この後はデータ整備の課題についてご説明したい。

多様な形式の
データソース
(公的統計・業務データ等)



データ加工
→

デジタル庁で整備したダッシュボード



多様な立場の
政策関係者

利用

中央省庁

地方自治体

47の広域自治体・1742の基礎自治体

サービス提供主体

数十万の医療機関・福祉施設・教育機関

受益者

従来、関係者がそれぞれデータを探し、異なる時点・切り口でデータを確認。自団体の状況を見るだけでもデータ加工に手間暇がかかっていた。

行政データ利活用を妨げる4つの壁

デジタル庁ダッシュボードシリーズでは、公的統計、行政データなど300種類以上の表データをダッシュボードの要件に合わせてデータ分析基盤に取り込み加工。

データを“使える”状態にする為に、データエンジニアは以下のような 4 つの壁に苦しめられ続けている。



1) 探索・解読の壁

具体例

Web UIにおける目視前提での命名や運用が多く、検索が難しいものや、時系列コレクションの作成が難しいものが散見される。
表番号や統計表名のどちらが信頼できるかは、提供元の運用によるので、利用者側で見極めないといけない。
(省庁HP) 似たような意味のファイルが散在しており、どれを使うべきか分からない。

8	//	(その2)_1
	//	(その2)_2
9	//	(その3)_1
	//	(その3)_2
10	//	(その4)
	//	(その4)
11	//	(その5)
	//	(その5)
12	//	(その6)
	//	(その6)_2
	//	(その6)_3

名称では判別できない統計表名の例
「//」や全く同じ名称

表番号	統計表	調査年月	公開(更新)日	表示・ダウンロード
-	作成要領	2018年	2018-11-30	PDF
	調査表様式(01表~22表)	2018年	2018-11-30	EXCEL
	調査表様式(23表~51表)	2018年	2018-11-30	EXCEL
				EXCEL
01	作成要領	2025年	2026-03-31	PDF
	調査表様式(01表~22表)	2025年	2026-03-31	EXCEL
	調査表様式(23表~51表)	2025年	2026-03-31	EXCEL
	調査表様式(52表~73表)	2025年	2026-03-31	EXCEL
	調査表様式(74表~96表)	2025年	2026-03-31	EXCEL
				EXCEL
	01 団体の概況	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
	02 決算収支の状況	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
	03 経理関係の状況	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
	04 歳入の状況 その1 歳入内訳	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
02	05 // その2 収入の状況	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
	06 道府県別の徴収実績	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
	07 歳出内訳及び財源内訳(その1)	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
	08 //	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
03	09 //	2025年	2026-03-31	EXCEL CSV
				EXCEL CSV
04				EXCEL CSV
				EXCEL CSV
05				EXCEL CSV
				EXCEL CSV
06				EXCEL CSV
				EXCEL CSV
07				EXCEL CSV
				EXCEL CSV
08				EXCEL CSV
				EXCEL CSV

目的の統計表に関して、最新年度がいつか、API化有無などを調査するのは非常に面倒。
上は2018年までしかAPIが無いことを示す例

《類似団体について》

市町村(特別区を含む)の類似団体とは、行政権能の相違を踏まえつつ、人口及び産業構造により市町村を35の類型に分類した結果、当該団体と同じ類型に属する団体を言います。
都道府県においては、上記の類型に代わって、財政力指数に基づき全国の都道府県を5つのグループに分類しています。
各類型(又はグループ)ごとの団体の一覧については、以下のファイルをご覧ください。

- 令和6年度財政状況資料集における類型(又はグループ)別団体一覧(Excelファイル)
- 令和5年度財政状況資料集における類型(又はグループ)別団体一覧(Excelファイル)
- 令和4年度財政状況資料集における類型(又はグループ)別団体一覧(Excelファイル)

[附表6 地方債年度別償還状況\(千円\)](#)

附表7 国民健康保険事業の状況

- [1.歳入内訳](#)
- [2.歳出内訳](#)
- [3.事務職員の状況](#)

[都道府県別団体名一覧表](#)

類似団体別職員数の状況(令和7年4月1日時点)

[類似団体別職員数の状況\(令和7年4月1日時点\)](#)

- [「類似団体別職員数の状況」の活用の手引き](#)
- [類型別構成団体数\(令和7年4月1日時点\)](#)
- [都道府県別類似団体区分一覧表](#)
- 類似団体別職員数の状況
 - (1) [単純値](#)
 - (2) [修正値](#)

地方公共団体の「類似団体」であれば、全く別の3箇所それぞれにそれらしいデータが存在。
使いやすさが大きく異なり、内容も本当に微妙に異なる。

2) 神Excelの壁

具体例

従来より指摘されるように「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」や「行政データにおける機械可読性に関するルール」に違反するような内容が散見される。

下記は特に初見では発見が難しいパターン。

エッジケースであっても全てのデータに対して常に疑い続けるコストが発生する。

1	決算年度	業務コード	団体コード	県名	団体名	団体区分	表番号	表名称	行番号	行名称	04:災害復旧事業費支出金	055:失業対策事業費支出金	056:委託金	057:普通建設事業	058:災害復旧事業	059:その他	060:財政補給金	061:社会資本整備総合交付金	062:特定防衛施設周辺整備調整交付金	063:電源立地地域対策交付金	064:地方創生関係交付金	065:新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	066:物価高騰対応分	067:その他	068:子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金	069:その他の新型コロナウイルス感染症対策関係交付金等	070:その他	071:国営提供施設等所在市町村助成交付金	
3080	2022	61	478369	沖縄県	八重山広域振興圏	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3081	2022	61	478377	沖縄県	南部広域振興圏	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3082	2022	61	478385	沖縄県	北部広域振興圏	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	152469	0
3083	2022	61	478393	沖縄県	比謝川行政圏	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3084	2022	61	478407	沖縄県	中部北環状振興圏	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3085	2022	61	478423	沖縄県	那覇市・市外	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	15478	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3086	2022	61	478431	沖縄県	那覇港管区	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3087	2022	61	478440	沖縄県	沖縄県外	6	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312877	0
3088	2022	61	478458	沖縄県	沖縄県後援市町村	7	4	歳入内訳	1	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3089	2022	61	合計(全国)			4	歳入内訳	1	決算額	251928	14081	91226732	6721652	778504	83726576	3403144	6.18E+08	21696229	29835641	48617881	1.15E+09	4.67E+08	6.78E+08	9.29E+08	1.53E+09	1.56E+09	37496708		
3090	決算年度	業務コード	団体コード	県名	団体名	団体区分	表番号	表名称	行番号	行名称	04:参事・地方	055:参事・分担金及び負担金	056:参事・使用料	057:参事・使用料・授業料	058:参事・使用料・保育所使用料	059:参事・使用料・公営住宅使用料	060:参事・使用料・その他	061:参事・手数料	062:参事・財産収入	063:参事・諸収	064:参事・その他								
	3091	2022	61	11002	北海道	札幌市	1	4	歳入内訳	2	決算額	327678	9587	7730	228	698	3432	3372	78	0	287125	0							
	3092	2022	61	12025	北海道	函館市	8	4	歳入内訳	2	決算額	92370	639	0	0	0	0	0	957	449	118426	0							
	3093	2022	61	12033	北海道	小樽市	3	4	歳入内訳	2	決算額	14127	0	715	0	0	690	25	724	0	26628	0							
	3094	2022	61	12041	北海道	旭川市	8	4	歳入内訳	2	決算額	528737	4758	5093	0	31	5047	15	0	0	139081	0							
	3095	2022	61	12050	北海道	室蘭市	4	4	歳入内訳	2	決算額	34410	0	3231	0	0	3231	0	110	0	5180	0							
	3096	2022	61	12068	北海道	釧路市	3	4	歳入内訳	2	決算額	105842	471	4996	0	0	4996	0	30	0	38346	0							
	3097	2022	61	12076	北海道	帯広市	3	4	歳入内訳	2	決算額	27452	1442	2556	0	960	1556	40	0	0	25280	0							
	3098	2022	61	12084	北海道	北見市	3	4	歳入内訳	2	決算額	27002	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	3099	2022	61	12092	北海道	夕張市	4	4	歳入内訳	2	決算額	6697	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	3100	2022	61	12106	北海道	岩見沢市	4	4	歳入内訳	2	決算額	7715	1003	0	0	0	0	0	0	0	1	0							
	3101	2022	61	12114	北海道	網走市	4	4	歳入内訳	2	決算額	24900	0	7122	0	0	7122	0	0	0	1668	0							
	3102	2022	61	12122	北海道	留萌市	4	4	歳入内訳	2	決算額	9601	591	395	0	0	395	0	0	0	2466	0							
	3103	2022	61	12131	北海道	苫小牧市	3	4	歳入内訳	2	決算額	29880	0	7435	0	76	7290	69	0	19206	18047	0							
	3104	2022	61	12149	北海道	稚内市	4	4	歳入内訳	2	決算額	26385	0	0	0	0	0	0	0	498	0	0							
	3105	2022	61	12157	北海道	美瑛市	4	4	歳入内訳	2	決算額	10941	0	0	0	0	0	0	0	0	301	0							
	3106	2022	61	12165	北海道	芦別市	4	4	歳入内訳	2	決算額	3656	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0							

3090行目まで目視しないと折り返しに気付けない例

機械可読性の自動判定ツールの検討

行政データの機械可読性向上の一環として、行政データにおける機械可読性に関するルールをコード化する取組みにおいて、機械可読性ルールをプログラムで自動判定するツール

「Harunobu」を開発・公開。

統計ポータル等の公開前のExcel/csvの機械可読性チェックツールや可読性レベルのラベル付けとして使用されることが期待される。



Excel/csvファイルを入力とし、機械可読性ルールへの適合を自動検査・レポートするWeb app/CLI tool “harunobu”

3) 紐づけの壁

具体例

データ部分は整っているが、列名が「列001...」のようになっており、調査様式と照らし合わせなければ内容がわからない。
年度によって対応関係が変化するので、分析対象全年度の対応関係を作成しなければならない。

省庁間で1団体の表記と意味粒度が異なり、機械的なマッチングができず、目検や原課との会話による確認を要することも。

表番号	統計表	調査年月	公開（更新）日	表示・ダウンロード
	作成要領	2025年	2026-03-31	PDF
	調査表様式（00表～21表）	2025年	2026-03-31	EXCEL
	調査表様式（22表～48表）	2025年	2026-03-31	EXCEL

fx 01

C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
表番号	行番号	団体コード	団体名	団体区分	特定被災団体	管轄団体コード	列001	列002	列003	列004	列005	列006
05	01	011002	札幌市	1		000000	3.57E+08	0 32661723	0 3.24E+08			
05	01	012025	函館市	8		010006	32033655	0 2457798	0 29575857			
05	01	012033	小樽市	3		010006	14394403	0 1099605	0 13294798			
05	01	012041	旭川市	8		010006	39957894	0 2949277	0 37008617			
05	01	012050	室蘭市	4		010006	13158455	0 877611	0 12280844			
05	01	012068	釧路市	3		010006	20804669	0 1361425	0 19443244			
05	01	012076	帯広市	3		010006	23031373	0 1682492	0 21348881			
05	01	012084	北見市	3		010006	14793895	0 876912	0 13916983			
05	01	012092	夕張市	4		010006	915498	0 37298	0 878200			
05	01	012106	岩見沢市	4		010006	8332821	0 485190	0 7847631			
05	01	012114	網走市	4		010006	4926145	0 226100	0 4700045			
05	01	012122	留萌市	4		010006	2148025	0 121420	0 2026605			
05	01	012131	苫小牧市	3		010006	28840438	0 1972784	0 26867654			
05	01	012149	稚内市	4		010006	4915293	0 220278	0 4695015			
05	01	012157	美唄市	4		010006	1945817	0 72630	0 1873187			
05	01	012165	戸別市	4		010006	1339357	0 52356	0 1287001			
05	01	012173	江別市	3		010006	12852192	0 1018420	0 11833772			
05	01	012181	赤平市	4		010006	783048	0 40542	0 742506			

団体コード012345
表番号05

収入の状況

区 分	行	決 算 額 (A)	臨時なもの (B)		差 引 経 常 的 な も の (A) - (B)
			特 定 財 源	一 般 財 源 等	
1 地 方 税	0 1				
2 地 方 譲 与 税	0 2				
3 利 子 割 交 付 金	0 3				
4 配 当 割 交 付 金	0 4				
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	0 5				
6 分 離 課 税 所 得 割 交 付 金	0 6				
7 地 方 消 費 税 交 付 金	0 7				
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	0 8				
9 軽油引取税・自動車取得税交付金	0 9				

21 費用構成表

21 費用構成表

MST_ESTAT_STATISTICAL_TABLE

MST_ESTAT_WATERWORKS_ITEMS

MST_ESTAT_WATERWORKS_ITEMS_DETAIL

MST_ESTAT_WATERWORKS_ITEMS

行番号と列番号をもとに項目特定が必要。目検で転記。

調査票のレイアウトと対応する意味が年度間で大きく変更される例
分析可能にするには情報を転記し、年度間共通で使えるマスタを作成しなければ先に進めない

4) 継続の壁

具体例

ある1ダッシュボードの更新にはe-Statから44ファイル、 52のHPから1,659ファイルを毎年取得。

→ データやダッシュボードの**価値を維持するために常に更新・メンテナンスし続ける必要があるが、**
一つひとつのデータソースの扱いづらさが運用のコスト高となり続けてしまう。

原則可能な限りプログラム等による自動化を行っているが、先述の3つの壁はどうしても人手が必要になっている。

そのためデータ加工時の難点をできるかぎり原課にフィードバックし、草の根的な改善を継続している。

しかし、一度公開されたデータ形式の変更には慎重にならざるを得ないのが実態で、中々改善が進みづらい。

AI-readyなデータの土台となるそもそものデータの継続的な改善について、政府としての優先度を上げる必要性がある。

好例

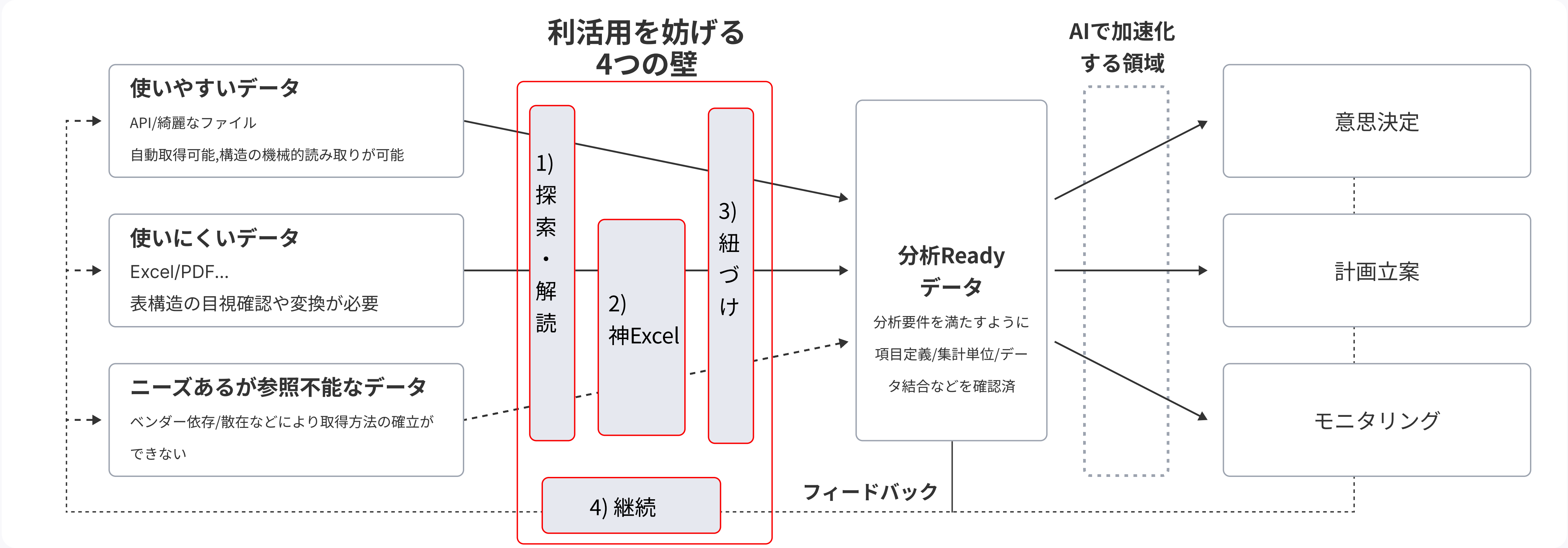
- 省庁HPで公表されている既存の調査結果に自治体コードを追加
- 調査システム更改に併せて、調査項目帳票自体も機械可読性の担保された表データとして公開（検討中）

断念した例

- 47都道府県HPに散在していたExcelの集約と1テーブル化
- すでにe-Statで公開されているExcelの機械可読性の向上（前例優先）

行政データ利活用拡大に向けて供給側で求められる整備内容

AIは整ったデータの上では利活用を大きく加速するが、“使える”データの供給が拡大に向けたボトルネックである。



利活用の現場から見て、優先して整備することが望まれる条件（案）

- （データ/ファイル層）機械的に即時読める状態を確保する
 - e-StatであればAPIが即日公開される
 - Excelであれば機械可読性が担保されている
 - e.g.) harunobu等によって機械可読性のレベルが確認されたもの
- （意味・接続層）調査項目等が機械可読性が担保された状態で公開されている
- （運用・方針）フィードバック機構の構築/データそのものを改善する方針を示す